

# ドーピング まめちしき!

嶋元医院 院長 嶋元 徹

ドーピング検査を行う検査員(DCO)の経験者

Vol.11

## どんな検査を受けるの？(その④)

今回は採尿後の流れを説明します。

採尿後は採尿コップを自分で持ち、検査員の視野に入るようにしてドーピングコントロール室に戻ります。まず、複数のサンプルキットから自分自身で一つを選びます。この時に、発泡スチロール製の箱に破損がないかどうかを注意して確認します。箱の蓋がセキュリティテープで封印されていることを十分に確認して下さい。このテープは一度剥がすと、テープ側と箱側に文字が残るようになっていて、テープの色も変わる仕組みになっています。封印を繕工したような痕跡がないかどうかしっかり確認しましょう。サンプルキットを選んだ後は、すべて選手自身のみが操作し、原則他人に触らせないようにします。

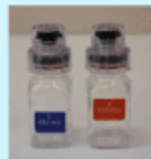
次に、検査員の指示に従って封印を外し、箱を開けて中のものをすべて取り出します。サンプルボトルの割れや汚れ異物の混入がないかどうか確認して下さい。そしてボトルに付いている番号と中に入っているシールの番号、箱の番号がすべて一致しているかを確認します。

確認が終われば、いよいよボトルへ分注します。検査員の指示に従い、青いBボトルへ尿を入れます。ラベルにあるラインよりわずかに上まで注ぎ入れて下さい。採尿量が少ない場合は何度か机の上に置いて確認しながら分注しましょう。Bボトルが終わりましたら同じ要領で赤いラベルのAボトルへ分注します。検体量が多い場合Aボトルのラベルの上にガラスの段ができていますのでそれ以上入れないで下さい。残った尿は再度Bボトルへ入れておいて下さい。この後、尿の比重を測る必要がありますので、わずかだけ尿は残しておきましょう。分注が終わりましたら、しっかりと蓋を開めます。この蓋は開める方向には回りますが、開ける方向には回らなくなっていきます。今までカー一杯開けて蓋を破損した選手はいませんので安心して閉めて下さい。

これで選手の尿検体は完全に封印され安全な状態になります。その後、検査員は蓋が完全に閉まっているか、漏れがないかの確認をします。以上で分注の手続きは終了です



セキュリティテープを  
しっかり確認



サンプルボトル  
取付とは異なる場合があります。



- ① サンプルキットの箱の破損や封印の確認
- ② ボトルの破損、汚れ、異物の確認と、番号シールの確認
- ③ 検査員の指示に従って、焦らず慎重に(大事な検体です)